

千葉大学医学部附属病院で頭頸部癌手術をされた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年8月23日

薬剤部

耳鼻咽喉・頭頸部外科

薬剤部では、頭頸部癌術後栄養療法の改定とその影響に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2018年8月1日～2023年1月31日の間に耳鼻咽喉・頭頸部外科で頭頸部癌手術をされた方

1. 研究課題名

「頭頸部癌術後栄養療法の改定とその影響」

2. 研究期間

2024年承認日～2029年3月31日

この研究は、観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

国内外の栄養に関するガイドラインにおいて、手術後早期に開始する静脈から投与される栄養輸液は高血糖や肝機能障害を引き起こすことが知られています。その原因の一つである高カロリー輸液による糖の過剰摂取を回避するため、手術後早期の高カロリー輸液を廃止しました。本研究では手術後の栄養療法の改定が高血糖や肝機能障害および手術に関連した合併症の発生に与える影響を調査します。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究IDに置き換えた情報は千葉大学医学部附属病院薬剤部にて解析がおこなわれます。氏名等と研究IDとの対応表は外部には提供されません。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている以下の情報を研究に使用します。

- ・性別、年齢、身長、体重、病歴、血液検査値、放射線治療歴、既往歴、がん原発部位、進行度（ステージ）、入院日数、手術の内容、手術後の合併症

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：薬剤部 教授・薬剤部長 石井伊都子

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院薬剤部において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

薬剤部 山本晃平

043（222）7171 内線6500